



健康の駅 ながおか

健康の駅ながおかと名づけられた当施設は長岡で初めて採用されたPFI事業であり民間福祉施設と合築したものである。ロケーションは信濃川と長岡駅前大通りがクロスする場所に位置する。人々が世代を超えて出会い、コミュニケーションを育むこの施設に交流を象徴するクロスポイントのモチーフを採用した。当施設は企画、運営を通して高齢者のもてる豊かな知識と経験を生かすことによって老人から益々豊かな人、「豊人」として活動する

ステージになることを願うものである！ 信濃川はかつて長岡の発展を支えてきた。それを象徴する意味も込めて、建築は様々な福祉機能が乗り合っている船をイメージさせた。又見方を変えれば大通り側ファサードはいくつもの建物・家々が集まってできる町並みを表現した。北側住居の方々へは圧迫感を配慮し棚田や段々畑の様にデザインした。随所にある雁木は雪国の家々を結ぶ基本機能を持ちながらもシンボリックにアレンジしてみた。



階別ゾーニング

- 1階部分の利用 (地域交流スペース、デイサービス、診療所、訪問介護、看護)
- 高齢者センターは2階に集約
- 3階以上はケアハウス

3～5階
ケアハウス

＜パブリックスペース＞
ゆとりと落ち着きのある空間は各階ごとにバイキング式食堂、リラクゼーションルーム、サロンと使われます。

＜プライベートスペース＞
広さとゆどりの居室。窓からの眺めは自然と夜景を両方楽しめます。全室に障子と珪藻土、フローリングを取り入れ、世代になじみのある雰囲気が落ち着きます。

2階
特定事業（高齢者センター）のサービス

＜交流スペースの提供＞
出会いゾーン（交流和室）、まなびゾーン（研修室）。

＜充実した入浴サービス＞
浴室入り口は東山の山並みをイメージしたデザイン。歩行浴、ジャクジー、露天風呂、打たせ湯、マッサージコーナー。

1階

＜エントランス＞
エントランス周りのデザインは、花火をモチーフとして統一されています。デイサービスの雁木はオープンカフェのイメージで人々の交流を地域につなげます。

＜東側雁木空間＞
県道からの動線は、雁木空間で引き込まれ、屋上の花火見雁木まで続きます。

